

月刊 かわごえ環境ネット

2017年7月号 No.129

<http://kawagoekankyo.net>

2017年7月7日発行 編集・発行：かわごえ環境ネット

「夏の郊外クリーン活動」参加者募集 (7/16)



前年の活動の様子 (2016年7月17日)

7月16日(日)9:30から2時間程度、川越市民聖苑やすらぎのさと周辺の郊外クリーン活動を実施します。事前申込で7月14日(金)までに申し込みください。どなたでも参加できます。

(詳細12ページ)

「エコプロダクツ川越2017」出展 (7/23)



前年の出展の様子 (2016年7月24日)

7月23日(日)10:00-15:00に環境プラザ「つばさ館」で開催される「エコプロダクツ川越2017」にかわごえ環境ネットと関連団体が共同出展します。テーマは「夏休み自由研究あれこれ・ペットボトルロケット」、会場は2階です。

(詳細13ページ)

目次

コラム	私のエコ体験 (13) 手作りコンポストと山芋栽培	2
	川越「周辺」の自然を訪ねて (55) 坂戸市滝不動とその周辺	3-4
報告	かわごえ環境ネットの活動 (5題)	4-8
	会員・地域・流域の活動 (4題)	8-11
	理事会・専門委員会 (3題)	11-12
予告	かわごえ環境ネットの主催・出展・協力行事 (6題)	12-14
	会員・関係団体の主催・関連行事 (8題)	15-18
	広報委員会からのお知らせ	18-19
	イベントカレンダー (7月9日~8月30日)	20

【コラム】私のエコ体験 (13) 手作りコンポストと山芋栽培



自作したコンポスト



生ごみ⇒ボカシ⇒土を繰り返す



元気に伸びるツル(6月20日撮影)

昨年、部会の渡辺さんより山芋の種イモをいただき、庭の片隅に麻袋に土を詰めて栽培してみました。けっこう大きく育ちましたが、麻袋では乾燥がよすぎて山芋に割れができたことと、深さが足りず麻袋を貫通して地面深く入り、周りの木の根にじゃまされ全部収穫できず、心残りがありました。その失敗をふまえ、今回は環境を整えて挑戦してみました。

わが家では、生ごみは市の回収には出さず、バケツに貯め、ボカシを入れて熟成させ、肥料として再利用しています。バケツがすぐに満杯になり、その都度声をかけられ、畑に埋めるのは私の仕事ですが、けっこうめんどうな作業でした。

そのことを思い出し、昨年11月にコンポストを兼ねた山芋を植える箱の製作を思い立ちました。台所から近い畑の片隅に設置して生ごみを気兼ねなく投入して、ある程度溜まると平らにならし、大きな野菜くずは植木ハサミで裁断してボカシを入れて攪拌、土をごみが見えなくなるくらい投入し、また生ごみを入れるを繰り返すことで山芋つくりの床ができました。

コンポスト用箱は乾燥を防ぐのと強度のために糸入り波板を使用し、土の重みに耐えるよう枠はがっしりとさせ、組み立て式としました。

もちろん4~5年は繰り返し使用する予定です。

今年成功すればもう1個作り、4月~11月までの生ごみ入れを作れば1年を通して生ごみ処理と雑草、落葉の処理が手軽に解決しそうです。

妻には生ごみ出しが楽になったと感謝されています。波板幅ですから60cm角ですが、今年は山芋12本を植えてテストをすることにしました。

収穫目標として8~10kgを目論んでいます。

この面積で予定通りの収穫ができれば、土地の有効活用ができ、また生ごみ処理が解決できると自画自賛しているところです。

山芋の習性を観察し、来年以降に緑のカーテンとして利用できないかと考えていますが、パッションフルーツと違い、山芋の葉っぱはおいしいらしく、アゲハチョウが卵を産み付け、親指大の芋虫が昨年は付きましたので、駆除方法に一考を要するようです。

いずれにしても山芋は、色々な料理に使用できておいしくいただけますので、万人に喜ばれますし、大好きなたこ焼きがたくさん食べられます。

今年はムカゴを取り、種イモを増やしてみようと考えていたところ、5月になり、昨年作った近くの土壌より40本近くの芽を発見、思い起こせばムカゴの収穫は一度したきりでしたので、自然落下したムカゴが発芽したようです。

思いもよらず、今年はムカゴから山芋作りに挑戦でき、何年で親芋になるのか確認できる楽しさが増えました。

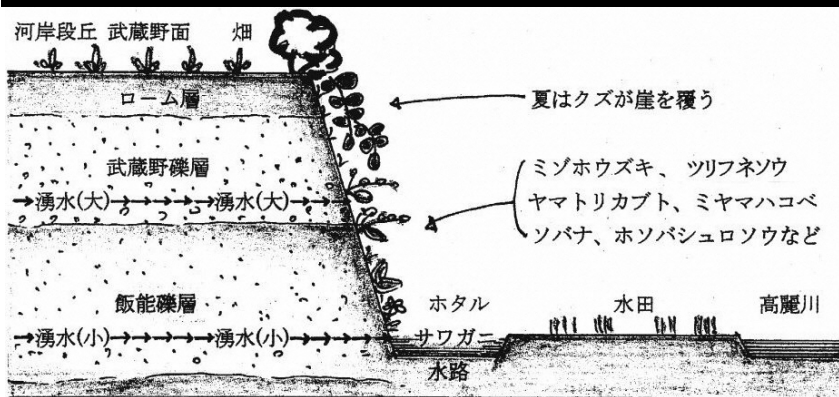
今後の課題として緑のカーテンとして利用可能か観察してみたいと思っています。

60cm四方の面積で緑のカーテンとして利用して、秋には山芋収穫ができれば一石二鳥です。そう理想通りに行くかは疑問も残りますが、今後の課題として取り組んでみたいと思っています。

わが家では、つるものとしてパッションフルーツ、アピオス、オカワカメ、それに山芋が追加されました。今年の収穫結果は次の機会に報告したいと思っています。

(井口吉三郎)

【コラム】川越「周辺」の自然を訪ねて (55) 坂戸市滝不動とその周辺



滝不動付近の段丘崖の断面と植物



滝不動付近 0m 200m



滝不動周辺の光景



タコノアシ (II類)



ヤマトリカブト

前回、城山（坂戸市多和田）を紹介しましたが、今回は私たち「サワギキョウの会」のもう1つの観察フィールドである滝不動とその周辺を紹介します。城山の南を流れる高麗川の1.5km下流に“滝不動”と呼ばれる小さなお堂があり、河川敷や耕作が放棄された水田の跡、わずかに残された水田とその周辺一帯が観察場所です。

正丸峠を源流とする高麗川は高麗神社付近から蛇行を繰り返して台地を削り、河岸段丘をつくりました。奥武蔵の山に降った雨は伏流水となって坂戸台地の下を流れ、段丘の崖から湧水になって流れ出ますが、滝不動はそこに位置します。高麗川の氾濫原は、昔から水田として利用されてきましたが、湧水と高麗川からの取水による水環境に関わる動植物が多く生息します。

土手道と河川敷

城西大学前の道を南に進み、多和田橋を渡って左に折れると、高麗川右岸に土手道が続きます。道沿いにはマメグンバイナズナ、ツルマンネングサ、ツボミオオバコ、ヘラオオバコ、アレチヌスビトハギ、川側にはシャクチリソバナ

どの外来種の侵入が目立ちます。土手の下は広い河川敷になっていて、オギの原とマルバヤナギの大木の森があり、その先に高麗川が流れ、明美な景観を作っていて、オオヨシキリが鳴いてアオサギが舞い、時にはタカの姿も見かけます。

湧水斜面の山地性植物

お堂付近の段丘崖の飯能礫層と武蔵野礫層の二つの地層からは多量の湧水があり、湧水の植物といわれるミゾハウズキをはじめ、ミヤマハコベ、チダケサシ、ソバナ、ホソバシユロソウ、ツリフネソウ、ヤマエンゴグサ、ヤマトリカブトなどが自生します。これらは、本来はもう少し高い所、つまり標高が高く気温の低い所に生える山地性植物ですが、年間を通じて15℃前後の湧水が、夏の暑さから守ってくれているからと思われる。夏にはクズがはびこり斜面を覆いますが、クズが直射日光をさえぎることもその手助けになっているのかもしれませんが。チダケサシ、ソバナ、ホソバシユロソウなどは、クズの隙間から花茎を伸ばして花を咲かせます。

その他の動植物

わずかに残された水田では、田植えを終えてしばらくするとホウネンエビやカブトエビの泳ぐ姿が見られ、湿潤なところにはタコノアシ(絶滅危惧Ⅱ類)、ウスゲチョウジタデ(絶滅危惧Ⅰ類)、ミズワラビ(準絶滅危惧)などが生えます。

段丘に沿った水路にはウキゴケ(Ⅱ類)、カワモズク(準)、ミズハコベ、ヤナギモなどの水生植物が見られ、湧水でワサビを育てている家もあります。水路にはサワガニ(ⅠB類)やメダカ(Ⅱ類)が泳ぎ、カワトンボやミヤマカワトンボ、アオハダトンボ(準)などが飛び交って、6月初めの夜にはゲンジボタル(Ⅱ類)の幻想的な光を見ることができます。また、キツネノ

カミソリ(準)やハグロソウ(準)が自生し、9月のお彼岸の頃に水路に沿った畔にヒガンバナが列をなす光景はすてきです。

注) (ⅠB類)と(Ⅱ類)は絶滅危惧種ランク、(準)は準絶滅危惧種を示します。

滝不動周辺の観察エリア：

- ・坂戸市四日市場の滝ノ下地区及び多和目の下渡戸地区
- ・東武越生線川角駅下車徒歩10分の城西大学前の道を南に進み多和目橋を渡った高麗川右岸一帯 (萩原章)

川越周辺の自然紹介の一環として、昨年引き続き坂戸「サワギキョウの会」の萩原さんに原稿依頼しました。ありがとうございました。

【報告】かわごえ環境ネットの活動

総会・懇親会 (5月27日)



総会の様子

本紙6月号の速報的にお伝えしましたが、5月27日(土)に川越市立博物館視聴覚ホールにおいて2017年度総会が開催されました。180名の会員のうち110名の出席(うち85が委任)により総会は成立しました。議長に早川俊一さんが選任され、議案第1号「2016年度事業報告」、議案第2号「2016年度決算報告及び会計監査報告」、議案第3号「会則の改正」、議案第4号「2017年度事業計画」、議案第5号「2017年度予算」と議長の進行で議事が進行し、すべての議案が原案どおり承認されました。



懇親会の様子

総会議案書については、過去のものを含めて本会ホームページに掲載しました。末尾に書かれたURLからご覧いただけます。

総会後の懇親会は、旧川越市市民会館前のどんぐりの木において開催され、16名の出席者が参加しました。かわごえ里山イニシアチブ代表の増田純一さんの進行により、各自の自己紹介を交えながら懇親を深めることができました。

(小瀬博之)

かわごえ環境ネット：事業計画・事業報告アーカイブ
(<http://kawagoekankyo.net/news/cat45/cat2.html>)

トンボヤゴ調査－安比奈親水公園（5月18日）

自然環境部会



ただいま鑑定中



採捕したもの



アオサナエ ヤゴ

調査結果

水生生物			
ヤゴ（4種）	ハグロトンボ	多数	
	アオサナエ	2	
	コオニヤンマ	1	
	オナガサナエ	2	
魚	クロメダカ	1	
	ドジョウ	1	
	オイカワ	1	
	シマドジョウ	1	
	ヌマチチブ	1	
	その他	カワニナ	多数
		ヌマエビ	多数
シジミsp		4	
モンキマメゲンゴロウ		3	
アメリカザリガニ		多数	
ナベブタムシ		2	
トンボ成虫	カゲロウsp	1	
	シオカラトンボ	1	
	サナエsp	1	

指標生物		
水質階級	11	イシマキガイ
	12	オオシマトビゲラ
	13	カワニナ類 ●
	14	ゲンジボタル
	15	コオニヤンマ ○
	16	コガタシマトビケラ類
	17	ヒラタドロムシ類 ○
	18	ヤマトシジミ
	19	イソコツブムシ類
	20	タニシ類
水質階級	21	ニホンドロソコエビ
	22	シマイシビル
	23	ミズカマキリ
水質階級	24	ミズムシ
	25	アメリカザリガニ ●
水質階級	26	エラミミズ
	27	サカマキガイ
	28	ユスリカ類
	29	チョウバエ類

水質階級の判定				
水質階級	I	II	III	IV
1. ○と●の個数		3	1	
2. ●の個数		1	1	
3. 合計（1欄+2欄）		4	2	
この地点の水質階級は	◎			

初夏らしい気候の下、安比奈親水公園を流れる小河川でトンボのヤゴ調査をしました。参加者は忙しい方も含めて5名、それに通りがかりのギャラリー5名が加わりました。

初めに、小河川の水温と水質（COD）を測定しました。水温は20.8℃で気温と同じくらい、CODは4mg/Lで魚の生息には問題ない水質でしょう。

すくい網をもって川底や縁をすくいます。目につくのはハグロトンボの大小のヤゴです。また、川底にはカワニナが至るところに見ることができます。日陰ではヤゴの姿は見られないため、流れのある場所と岸辺の草の下で縁を探すと他に3種類のヤゴが見つかりました。このほかに、魚では2種類のドジョウ、オイカワ、メダカ、ヌマチチブを採捕しました。エビも多く

ヌマエビ（カワリヌマエビ）、シジミspなどの採捕がありました。

川にはトンボが見られましたが、産卵しているようで飛行していたので、種類までは同定できませんでした。

ヤゴで同定したサナエ類のアオサナエとオナガサナエは、川の中流域に生息するトンボと図鑑に記載されており、安比奈親水公園で出会える可能性は大きいと思います（このときのトンボはアオサナエではないかと）。昨年度購入したトンボ図鑑が役に立てることができました。

また、環境省の全国水生生物調査の指標からこの水域の水質階級はIIの階級とわかりました。なお、5月25日のチョウの調査は雨のために中止としました。

（猪俣昇、過昌司）

編者注 環境省：全国水生生物調査 (<https://water-pub.env.go.jp/water-pub/mizu-site/mizu/suisei/suisei.html>)

上戸小学校「わくわくタイム」自然学習活動支援（5月30日）

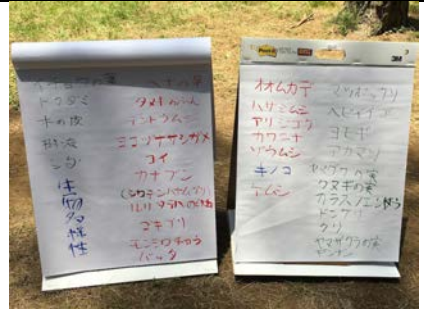
自然環境部会



始まりの会



ヤマグワ採りに夢中



観察されたものをリストアップ

今年も開催です。5月30日（火）午前に東洋大学大越記念庭園において、上戸小学校4年生74名と先生2名が、総合学習「わくわくタイム」の観察会を行いました。昨年と比べると20名減、少子化が進んでいるのでしょうか？上戸小学校に関わり始めて、最も少ない人数です。本会からは、小瀬理事長、賀登、菅野、森田、横山の計5名と一緒に庭園を巡り、学習支援しました。

毎年のことながら、支援する側の日程調整や大学サイドの下草刈りの有無など諸々の打ち合わせが必要です。一番気になるのは天気で、毎回予定日に開催できることを願っています。今回は予定日通り。毎年同じような形での観察会ですが、見つけれられる昆虫や植物が違います。

今年も横山担当のグループは、ヤマグワの実とヘビイチゴを食べてみました。反応は「食べられるの？」に始まり、ヤマグワは「おいしいね」、ヘビイチゴは、「味が無い。でも、イチゴの種のプチプチがある。」と、食べることのない野生の味を堪能していました。今回見つけた物は、コナラの実生、マツボックリ、スズメバチの巣の残骸、ヒノキ・スギの実、ヨコヅナサシガメ、マツオウジ、鉄分で茶色になっているカワニナなどでした。そうそう、久しぶりにタヌキの溜め糞もあったとか。支援する私たちも想像の広がる楽しい発見がいっぱいでした。

秋も11月22日（水）に支援予定です。協力者募集しています。秋の東洋大学構内、紅葉が進んでいますがよいところですよ。（横山三枝子）

かわごえ生き物調査会（6月3日）

自然環境部会



箕輪課長挨拶



牧野氏講座



雑木林散策

川越市が第三次環境基本計画（2016年度～2025年度）を平成28年3月に策定しました。環境基本計画に“生物多様性に関する調査、普及・啓発”（第5章3-1）を取り入れ、その取り組みとして市民参加による生き物調査が挙げられています。

このたび、6月3日（土）の講座はその記念

すべき第1回目のスタートでした。参加者は約30名で、10名くらいはお子さんです。“生き物”というのでひかれたのでしょうか。まず、高階南公民館で開会と講座が行われました。箕輪環境政策課課長が趣旨説明と協力お願いの挨拶、次いで牧野彰吾先生の講座です。テーマは生き物のランク（絶滅危惧種、一般在来種、一般外

来種、侵略的外来種) についてのお話でした。お子さんが多いのでカメのあれこれを交え、難しい展開にならないよう工夫されていました。

次いでバスで「(仮称) 川越市森林公園」計画地に移動というちょっと変則的な行程でしたが、本会自然環境部会の案内で雑木林に入っていました。お子さんたちは本会が用意した虫網を持って、チョウや虫を追いかけ楽しい時間を過ごせたようです。この時期の雑木林は新緑が一段落し、あまり注目すべきものがないのですが、

イチヤクソウ、ウメガサソウ、ネジキの花などは珍しい部類でした。今回は、市民の方に生き物調査員になっていただきたい目的もありますので、調査の方法や記録についての説名をしながらのフィールドワークでした。

今後、環境政策課みどりの担当が「市民生き物調査」を実施していくにあたり、本会自然環境部会が協力させていただいています。9月号の本紙で詳しくご案内いたします。

(賀登環)

川の一斉水質調査：30か所を16名が調査(6月4日)

事業運営委員会



①入間川雁見橋



②小畔川鎌取橋



③入間川菅間堰



④入間川出丸橋



採水した水(左から①②③④)



北公民館での水質調査の様子

毎年第1日曜日に統一実施日が定められている「身近な水環境の一斉調査」。これに参加する流域団体「荒川流域ネットワーク」(入間川・小畔川等の荒川上流河川事務所管轄区域担当)、「新河岸川水系水環境連絡会」(新河岸川・九十川・不老川等の荒川下流河川事務所管轄区域担当)の調査にデータを提供する形で、本会では2005年度から川越市内において「川の一斉水質調査」を行っています。

13年目の今年は、6月4日(日)午前16名(荒川流域6名：原嶋・賀登・井口・池田・小瀬・菊地、新河岸川流域10名：武田・高瀬・菅野・内野・中村・小林・青木・過・西田・新免)

の参加者が分担して30地点の採水と水質調査を行いました。

今年は、梅雨入り前で降水量が少なく、入間川では場所によって瀬切れが発生するほどの状況でしたが、予定していた31地点のうち、不老川の不老橋で採水ができなかったのみでした。試水の採水後は、北公民館において、簡易法によりCODなどの水質を調査しました。

今年は、CODの区分で0~2mg/Lが4地点(入間川3地点、新河岸川1地点)、3~4mg/Lが9地点(入間川2地点、小畔川1地点、新河岸川6地点)、5~6mg/Lが14地点(小畔川8地点、新河岸川3地点、九十川3地点)、7~8mg/Lが

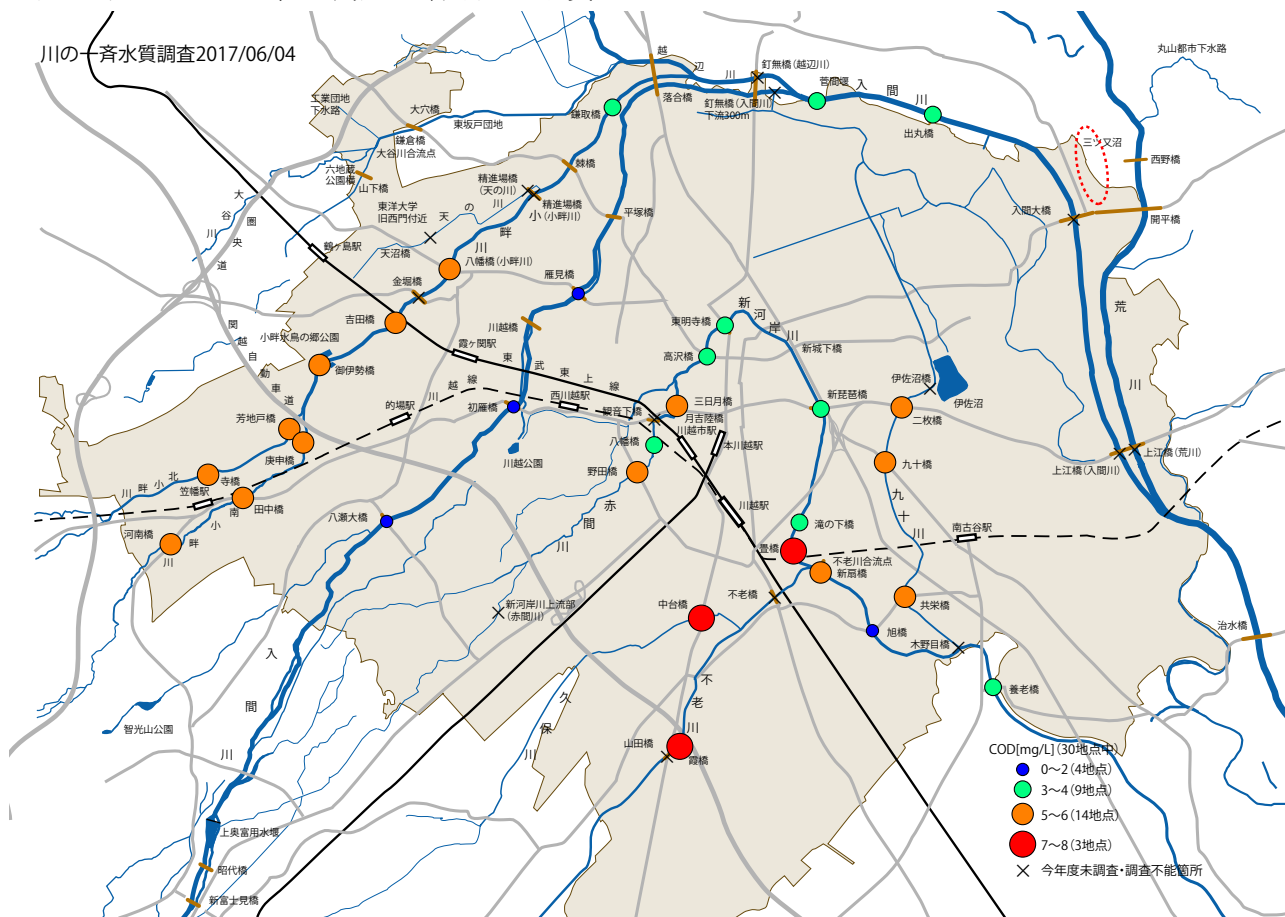
3地点(新河岸川、不老川、久保川各1地点)となりました。前年の2016年はCODの0~2mg/Lが3地点、3~4mg/Lが13地点、5~6mg/Lが11地点、7~8mg/Lが4地点でしたので、5~6mg/Lの地点が増加し、若干水質が悪化しています。これは、降水量の少なさのほかに、農業用水の排水の存在や湧水の減少などが関係していると考えられます。

よいというのが例年の傾向で、今年もその傾向は変わりませんでした。

過去の結果は、毎年の月刊かわごえ環境ネットの7月号あたりに掲載されています。バックナンバーは、本会ホームページに掲載しています。ぜひ過去の情報と比較してご覧ください。
月刊かわごえ環境ネットアーカイブ
(<http://kawagoekankyo.net/news/cat6.html>)

(小瀬博之)

川越市においては、入間川が最も川の水質が



水質調査結果 (2017年6月4日)

【報告】会員・地域・流域の活動

田んぼの食べる生きもの調査(植物編)と田植え

かわごえ里山イニシアチブ

かわごえ里山イニシアチブでは、5月20日にかわごえ環境ネットとの共催で田んぼの食べる生きもの調査を、6月10日(土)に「CO江戸かわごえ初雁の里」田んぼで田植えを行いました。

CO江戸かわごえ初雁の里田んぼでは、無農薬でお米やマコモの栽培を行っており、小さな子どもたちが安心して遊ぶことができる田んぼ

によりこのようなイベントが可能となっています。

田んぼの食べる生きもの調査では、食楽風土(クラフード)の林鷹央氏、ヤスダ屋料理人の安田花織氏を講師に迎え、約35名の参加者を得て野草を採集して料理し、野草が美味しいランチに変身しました。

メニューは、オオジシバリのサブジ(野菜の

蒸し煮)、カキドオシのヨーグルトサラダ、スギナ焼き団子、マコモダケ入り野草カレー。マコモダケのパンもマコモ栽培人の谷道氏から提供されました。極めつけは、ドジョウのてんぷらでした。最後に、今年初めての試みで緑肥として植え、美しい田園風景を作ってくれたストロベリーキャンドルの酵素ソーダもふるまわれました。

これらの料理のコンセプトは、田んぼではお米(=炭水化物)が作られ、ビタミンやミネラルは畔に植えた作物や野草から得られ、田んぼでドジョウや貝が育てば、そこからタンパク質が得られる。生きものが豊かな田んぼになれば、あらゆる栄養素が賄える食料の宝庫ということでした。

田植えは、今年に入間川の濁水で開催が危ぶまれましたが、農園主の必死の用水路の引水作戦でどうにかこうにか行うことができました。

かわごえ里山イニシアチブでは、入間川の水に頼ることなく無農薬のお米作りができるように、FAAVOのクラウドファンディングで「井戸掘りプロジェクト」を立ち上げました。お陰様

で多くの方のご支援を得て6月30日の終了日に56人から724,000円(目標の700,000円の103%)が集まり、プロジェクトは成功しました。

さて、田植えイベントでは、会員、FAAVOの支援者、リブランからの会員など約60名が集まり、子供たちは田植え前に一足早い生きもの探しに夢中です。

田んぼに入るのが始めてという子どもたちが多く、お父さん、お母さんの手をしっかりと握りながらおそるおそる田んぼに足を踏み入れます。みな、ワイワイと楽しそうに苗を植えています。普段は泥だらけになれる機会がないだけに貴重な体験です。昔ながらのこのような田植え体験は、子どもたちの楽しい思い出の一コマを作りだすことでしょう。

かわごえ里山イニシアチブでは、これからも環境や豊かな田んぼがいつまでも残るように活動していきます。

(増田純一)

<参考資料>カワゴエ・マス・メディア：野草が美味しいランチに！食べる生き物調査(植物編)～かわごえ里山イニシアチブ～

(<http://koedo.info/170522kawagoesatoyama/>)



足を取られながらの田植え



生きもの探しと畔の修復



野草カレーとドジョウの天ぷら

新組織として再スタート

東洋大学川越キャンパスこもれびの森・里山支援隊



6月11日の集合写真



ハチトラップの設置



ヤマユリの保護

2014年6月14日に活動を開始した「こもれびの森・里山支援隊」は、3年が経過する2017

年6月11日より、「東洋大学川越キャンパスこもれびの森・里山支援隊」として、東洋大学が運営する組織として活動することになりました。

今後も引き続き、東洋大学教職員・学生そして地域住民をはじめとする学外の方々と協働で、東洋大学川越キャンパスの「こもれびの森」を

生物多様性豊かな里山として保全する活動を実施していきます。よろしくお願いいたします。

なお、6月11日の活動は、キャンパスの安全を考慮してスズメバチのトラップの設置、そしてヤマユリの保護、つる切り、下刈りなどでした。
(小瀬博之)

飯能市の「環境フェスタ 2017」に参加しました



写真1 木川一男会長



写真2 大久保勝飯能市長



写真3 開会式



写真4 緑のカーテン用の苗の配布



写真5 企業の展示コーナー



写真6 人間漁業協同組合 魚の展示

6月の環境月間の一環として、はんのう市民環境会議と飯能市は、「環境フェスタ 2017」を6月10日(土)に開催しました。ボランティアとして参加しましたので報告いたします。

会場は市民活動センター(丸広百貨店飯能店7階)、「見て知って広げようエコの環」をテーマに、はんのう市民環境会議や企業・団体による展示のほか、エコツアー、エコドライブシミュレータ、木工教室や科学実験教室などが行われました。

また、講演会「データで見る天覧山の里山再生」なども実施され、約876人の来場がありました。子どもから大人の方まで見て、体験して、楽しんでもらえるイベントでした。

【出展企業・団体】西武鉄道(株)、新電元工業(株)、西武ガス(株)、サイタ工業(株)、(株)ニットー冷熱製作所、(株)椿本チエイン、人間漁業協同組合、

さいたま緑のトラスト協会飯能支部、NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会、NPO法人西川木楽会、森林ボランティアグループ飯能(かろりん会)、飯能の文化遺産を活かす会、ムーミン物語、埼玉大学、飯能市図書館・資源循環推進課、はんのう市民環境会議

「はんのう市民環境会議」について

緑と清流にはぐくまれた飯能の自然や環境を守り、育てていくために、「できることからはじめよう」をスローガンに、市民、事業者、民間団体及び市が相互に協力して活動していく集まりとして2003年に設立、事務局は産業環境部環境緑水課です。自然や動植物を守りたい、街をきれいにしたい、環境問題について勉強したい、ごみ減量やリサイクルを進めたい、その他、身近な環境について考えている人たちが活動しております。
(広報委員会 菊地三生)

新河岸川流域関係の動き

5月30日に、新河岸川流域川づくり連絡会の本年度第1回の会議が清瀬市で行われました。今年の流域河川の「川祭り」の情報、14回目を迎える「川でつながる発表会」の準備、6月4日の全国一斉水質調査についての要請等がありました。

また、同日、埼玉県川越県土事務所で、流域関係の市民団体代表8名の参加で、大塚河川部長らの幹部を交えての意見交換会も開かれ、埼玉県が昨年からはじめた「川の国埼玉はつらつプロジェクト」の取り組みなどの情報交換が行われました。
(武田侃蔵)

【報告】理事会・専門委員会

理事会

6月21日(水)10:00-11:55に第4回理事会を開催しました。主な議事は次のとおりです。

- ①7月23日(日)に開催される「エコプロダクツ2017」の展示場所や企業関係のパネルの確認など、当日のレイアウトを検討しました。
- ②川越市主催の「市民環境調査」について事務局から説明があり、その中で、8月2日(水)に予定されている「まち歩き暑さ測定ツアー」のルート検討を行いました。

③川越市産業観光部観光課から「川の国埼玉はつらつプロジェクト」新河岸川活用推進協議会のメンバー1名の推薦依頼があり、武田侃蔵理事を推薦することとしました。

④三富地域農業振興協議会から「第8回農と里山シンポジウム」のパネリストとしてメンバー1名の推薦依頼があり、横山三枝子副理事長を推薦することとしました。

(理事長 小瀬博之)

社会環境部会

6月の部会は、6月9日(金)福田ビル3階会議室において7名出席のもとで開催されました。うち1名は体験参加で、ぜひ会員として部会に参加してほしいとお願いしました。

1.事業運営委員会・理事会報告

川の水質調査、エコプロダクツ、まち美化、総会議案書の確認等について原嶋より報告し、板野代表より、補足説明していただきました。

2.議案の検討

1) エコプロダクツ川越2017参加の件

前回の事業運営委員会に提案した地球温暖化対策の案件とごみ問題とを展示、アピールすることにし、具体的に煮詰めることとしました。

2) 環境施設巡り

昨年検討した候補場所を基本に検討しましたが、3,000円の参加費で、喜んで参加していただける候補地の選択は難しいが、7月には確定しないと9月実施は困難の為、各人十分に検討して7

月の部会で確定できるよう、板野代表より示唆がありました。

3) 環境講演会

環境講演会は、環境問題の概論で参加者の興味をひくのは難しく、我々の身近な問題、やらなければならない課題、その効果等ぜひ参加してみようという気運になるような講演会をめざす必要があります、十分に検討して11月前半に実施できるよう、7月の部会では、日程、講師、演題等を決め実行することになりました。

4) パッションフルーツの挿し木作り講座

パッションフルーツは、緑のカーテンの効果が大きく、さらに花が美しく、実が食べられる(ジャムを作るとおいしい)効果もあり、冬を暖かくして過ごさなければならない難点がありますが、挿し木で増やせる効果がありますので、9月初旬に挿し木実習講座を実施することで、検討することとしました。

5) その他

街美化への参加、エコドライブ参加等についても協議しました。

7月の部会進行は、武田さん、コラム投稿は井口さんです。(代表:板野徹、報告:原嶋昇治)

自然環境部会

6月例会は9日(金) 福田ビル3階にて11名の参加で開催された

1.活動報告

- ①「(仮称)川越市森林公園」計画地定例活動
5/22(月)15名参加 野鳥調査 キビタキ、ホトトギス、アオゲラなど確認
- ②池辺公園定例活動 6/6(火) 6名参加 キチジョウソウ周辺保全作業、積年の埋没不法投棄ごみの処理
- ③トンボヤゴ調査 5/18(木) 安比奈運動公園 5名参加 別ページ参照
- ④イベント「食べる生き物調査」5/20(土) 里山イニシアチブと共催 別ページ参照
- ⑤上戸小学校4年生2クラス74名 学習支援

東洋大学キャンパスにて本会会員5名が支援別ページ参照

- ⑥「市民生き物調査会」6/3(土)市と共催 「(仮称)川越市森林公園」計画地 別ページ参照

2.協議事項

- ①6・7月の行事担当者の確認
 - ②調査活動地の選定 新たに6/23 菅間緑地、大堀山館跡を9月中に
 - ③初雁城址公園計画について 6/30に城下橋下流の湧水ポイントの調査を実施
 - ④コラム「川越の自然を訪ねて」原稿確認など
- ※8月の自然環境部会は休止です。

(自然環境部会代表 賀登環)

【予告】かわごえ環境ネットの主催・出展・協力行事

【再掲・トピック①】夏の郊外クリーン活動(7月16日日曜日開催)

夏の郊外 クリーン活動のお知らせ

かわごえ環境ネットでは年に3回のクリーン活動をしています。7月16日(日)に2017年度 最初の活動を行います。多くの方の参加をお待ちしております。

日時 2017年7月16日(日)
 行程 9時30分 「やすらぎのさと」入口に集合 川越市小仙波867-1 トングとごみ袋を配布後、グループ毎に活動を開始
 ※グループと活動コースは指定させていただきます。
 11時30分 「やすらぎのさと」で分別、冷茶を飲んで解散いたします。

参加申込 7月14日(金)までに 渡辺 ☎049-242-4322
 菊地 ☎080-5546-2362
 メール kikums@beige.ocn.ne.jp




2017年6月6日

かわごえ環境ネットでは、年に3回のクリーン活動をしています。7月16日(日)に最初の活動を行います。多くの方の参加をお待ちしています。

日時: 7月16日(日) 9:30-11:30

場所: 川越市民聖苑やすらぎのさと

(川越市小仙波 867-1)

参加申込: 7月14日(金)までに渡辺(Tel.049-242-4322)、菊地(Tel.080-5546-2362、E-mail: kikums@beige.ocn.ne.jp)

なお、第2回は川越まつり会場クリーン活動(10月14・15日)、第3回は川越中心市街地歳末まち美化活動(12月23日)を予定しています。

【トピック②】「エコプロダクツ川越 2017」出展（7月23日日曜日開催）

7月23日（日）10:00-15:00に環境プラザ「つばさ館」で行われる「エコプロダクツ川越 2017」の本会の出展内容が確定しました。キャッチフレーズは「夏休み研究あれこれ・ペットボトルロケット」としています。当日のワークショップを経験した児童が、家庭で内容を膨らませた提出物にしてくれたらと思います。

出展場所は、昨年使用した2階の工作室（社会部会がメイン）と隣の部屋（パネル展示とペットボトルロケットがメイン）です。また今年も、かわごえ環境フォーラム等で後援をいただいている事業所のパネル展示を計画しています。各事業所の環境への取り組みも多岐にわたって

いるので来訪者への啓発になればと願っています。

ペットボトルロケットの飛ばし実験などには、多くの方の協力が必要です。もし、お手伝いが可能であれば、事務局までその旨をご連絡ください。詳細は連絡させていただきます。7月22日（土）は10:00から会場準備、7月23日（日）は9:30までに入館、両日とも「つばさ館」2階です。

イベント全体の情報は川越市ホームページ『「エコプロダクツ川越 2017」開催』をご覧ください。
（横山三枝子）

【トピック③】市民環境調査の参加者募集**川越市環境政策課**

川越市では、環境に関する基礎データを収集することを目的に、市民のみなさんに参加していただく「市民環境調査」を行っています。ことに、かわごえ環境ネットのみなさまには平成26年度から続く「気温等観測調査」にご協力いただき、まことにありがとうございます。

今年度も、「川越の暑さを測る」をテーマに、市内の気温等観測調査を実施したいと考えています。

つきましては、気温等観測調査にご協力いただける方を募集します。かわごえ環境ネットのみなさまにおかれましては、今年度もぜひご協力いただきますようお願いいたします。

编者注：本会会員以外でも参加できます。

①黒球式熱中症指数計レンタル

熱中症の危険度をはかる熱中症指数計を貸与し、自宅や学校付近の熱中症危険度の測定と、体感による評価を行い、データをご提供いただきます。評価は、昨年度と同様に1日単位で行います。

対象：市内在住の方

方法：熱中症指数計による測定

申込：7月3日（月）午前10時より、川越市役

所環境政策課（Tel.049-224-5866）にて電話受付
貸与期間：8月1日（火）から8月31日（木）のうち最長1週間

②まち歩き暑さ測定ツアー

約3kmのまちなかを歩きながら、湿度や暑さ指数を測定するとともに、私たちが感じる暑さ（体感温度）を調査します。

日時：8月2日（水）10:00-12:00

会場：一番街周辺

対象：小学4年生以上（小学生は保護者同伴）
で市内在住・在学・在勤の方

定員：先着15人

申込：7月3日（月）10:00から環境政策課にて電話受付

③かしこい暑さ対策自慢

市民のみなさんが実践している、または実践したいと思っている、地球にもお財布にもやさしい暑さ対策について募集します。

例：扇風機とエアコンを併用して、風の通り道を作った。エアコンをいつもの冷房運転から弱冷房除湿運転に変えた。夏休みの宿題の一環で、家族で夏の節電に取り組んだ等

募集期間：7月3日（月）～9月15日（金）（必

着)

対象：市内在住・在勤・在学の方。

提出：環境政策課（川越市役所本庁舎5階）

提出方法：住所・氏名・連絡先（電話番号またはメールアドレス）、在勤・在学の方は勤務先・学校名を明記し、〒350-8601 川越市役所環境政策課（直接・Fax.・E-mail 可 Fax.049-225-9800、E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

まで

文字数：400字以内（市公式ホームページ上の様式を御利用下さい）

取り扱い：提出いただいた内容は、市公式ホームページで紹介しします（応募が多数の場合、類似のものは取りまとめたの掲載といたします。また、個人情報は公表しません。

会合

●社会環境部会（2017年7月度）

日時：7月14日（金）13:00-15:00

場所：福田ビル3階会議室（川越市郭町1-2-3）

*次回は8月10日（木）13:00-15:00 同所（通常と曜日が異なります）

●自然環境部会（2017年7月度）

日時：7月14日（金）15:00-17:00

場所：福田ビル3階会議室

*8月は休会

*両部会とも会員はどなたでも参加できます。

◆理事会（2017年度第5回）

日時：7月19日（水）10:00-12:00

場所：福田ビル3階会議室

*8月は休会

◆事業運営委員会（2017年度第3回）

日時：7月19日（水）9:00-10:00

場所：福田ビル3階会議室

*次回は8月30日（水）10:00-12:00 同所

◆広報委員会（2017年8月度）

日時：8月2日（水）9:00-9:45

場所：川越市役所本庁舎5階フリースペース（川越市元町1-3-1）

*次回は8月30日（水）9:00-9:45 同所

全体事業

★夏の郊外クリーン活動

日時：7月16日（日）9:30-11:30

場所：川越市民聖苑やすらぎのさと
（川越市小仙波867-1）

*詳細は12ページ

★「エコプロダクツ川越2017」出展

日時：7月23日（日）10:00-15:00

場所：環境プラザ「つばさ館」（川越市鯨井782-3）

*詳細は13ページ

自然環境部会主催事業

<定例活動>

★「(仮称)川越市森林公園」計画地 植物調査・保全活動（毎月第2・第4月曜日）

日時：7月10日・24日（月）9:30-12:30

*8月は休止

集合：川越南文化会館（ジョイフル）（川越市今福1295-2）

問い合わせ：賀登（Tel.049-234-9366）

★池辺公園定例活動

日時：8月1日（火）9:00-12:00

場所：池辺公園（川越市池辺1302）

問い合わせ：菅野

<単回の調査・観察会>

★虫の観察会～かわごえ生きもの調査会～

日時：7月30日（日）9:00-12:00

場所：(仮称)川越市森林公園計画地

定員：先着 30人

申込：7月3日（月）10:00から電話で川越市環境政策課（Tel.049-224-5866）

川越市との共催行事。野外活動できる服装で、タオル・筆記用具持参。

★甲虫調査

日時：8月5日（土）9:00集合

場所：安比奈親水公園（川越市安比奈新田140-1地先）

問い合わせ：過（Tel.049-246-1155）

【予告】会員・関係団体の主催・関連行事

NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ：谷津弘子（Tel.&Fax.049-224-9118, foresth@nifty.com）

ホームページ <http://www.foresth.sactown.jp>

◎自然観察会（公園と考える会共催）

①7月17日（月）10:00-14:30 森のいきもの（オオムラサキ、ヤマユリ）観察会

集合・時間：国営武蔵丘陵森林公園南口ゲート前、9:45受付、参加費無料（入園料、駐車場代は別）、昼食後自由参加、雨天決行

講師に大塚豊さんを迎えて、ヤマユリの花や昆虫などを観察します。

②8月26日（土）16:30-19:30「夜の鳴く虫観察会」

集合・時間：国営武蔵丘陵森林公園南口休憩所（南口駐車場内）、16:00受付。参加費無料（入

園料、駐車場代は別）、懐中電灯、虫よけスプレーなど

往復はがきによる事前予約制。8月19日（土）必着で、参加者全員の名前、年齢、住所、連絡先を明記の上、355-0802 埼玉県比企郡滑川町山田1920 森林公園管理センター「夜鳴く虫観察会」係あて送付、問い合わせ先 Tel.0493-57-2111（受付時間 9:30-17:00）

今年も講師の解説でクツワムシやスズムシの鳴き声や姿を楽しみましょう。ペット連れでの参加はご遠慮ください。

<詳細>武蔵丘陵森林公園：イベント一覧 (<http://www.shinrinkoen.jp/event/>)

福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子（Tel.049-246-9319）

◎おいしく・楽しく農業体験

日時：7月8日（土）16:00-

9月9日（土）9:30-12:30 ごろ

場所：明見院（今福677）近く

内容：農作業（B級品のお土産付き）

会費：保険代100円、

クラブ員1家族1,000円（年間）

2017年度予定表

月	日	活動内容予定
7	8 随時	トウモロコシの収穫作業 トウモロコシの片付け（平日）
8		休みです
9	9	キャベツの収穫、片付け他
10	14	大根畑の片付け他

みなみかぜ いきいき田んぼの会（川越生物多様性有機農法で地域づくりに取り組む会）

問い合わせ：社会福祉法人健友会 地域交流センターみなみかぜ 事務局：佐藤（Tel.049-234-8500 [9:00-17:00], Fax.049-239-5646, E-mail: tanbo373@yahoo.co.jp, 350-0807 埼玉県川越市吉田204-2）

いつからでも、誰でも参加でき、活動の一回体験も可です。体験だけでもしてみませんか、楽しいことうけあいですよ♪

田んぼ活動でいきいきしたいあなたを求めています！

◎農作業（火・金曜日の9:00-12:00）

期日：7月11日（火）・14日（金）・18日（火）・21日（金）・25日（火）・28日（金）

場所：地域交流センターに集合、農作業は隣の田んぼです。

◎月例会（同日 9:00-11:00 の作業終了後）

場所：地域交流センター ホール

日時：7月14日（金）11:00-12:00

かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一（E-mail: kawagoesatoyama@gmail.com, Tel.070-5599-2623）

ホームページ <http://kawagoesatoyama.ciao.jp/>

「かわごえ里山イニシアチブ」では、生物多様性育む田んぼの保全を目的に、みんなで連携して無農薬によるお米作りや生きものの賑わいを取り戻す活動を行っています。

木曜日と土曜日を作業日としています。9:00から現地で作業です。詳しくはお問い合わせください。（编者注：イベントカレンダー未記入）

◎【予定変更】田んぼ除草大作戦&持ち寄りパーティー

日時：7月15日（土）9:00-14:30

場所：CO 江戸かわごえ「初雁の里」田んぼ（川越市福田 310 地先）に直接おいでください（車の方は、田んぼ近くの駐車場にご案内します。高梨農園さんには駐車しないでください。）

アクセス（<http://kawagoesatoyama.ciao.jp/access/>）

スケジュール：9:00-12:00 除草作業、12:30-14:30 川越市地域北部ふれあいセンター（川越市山田 1578-1）へ移動し、一品持ち寄りパーティー
持ち物：ビニール手袋、飲み物、帽子、長袖、田んぼ用の長靴（無い方は汚れてよい靴下とビーチサンダル）、持ち寄り一品（市販品やフルーツやナッツなどでもかまいません）

参加受付等：当日直接会場へ

有機稲作研修の抑草診断でしたが、今年は草が押さえられておりません。そこで、予定を変更して、除草大作戦と今までの経過や今後についてのお知らせを楽しくシェアする持ち寄りパーティーを行います。初参加の方も大歓迎です。

◎総会及び懇親会

日時：7月22日（土）16:00-18:00 総会、18:30-20:30 懇親会

場所：ウエスタ川越内南公民館（川越市新宿町 1-17-17）

◎エコプロダクツ川越参加

日時：7月23日（日）10:00-15:00

場所：環境プラザ「つばさ館」（川越市鯨井 782-3）

高梨農園さんと同一ブースでコラボ出展
今後の主なイベント（変更の可能性があります）

期日	時間	内容
7/15 (土)	9:00-14:30	【日時・行事変更】田んぼ除草大作戦&持ち寄りパーティー
9/23 (土)	9:30-15:00	稲刈り
10/14 (土)	10:00-15:00 (受付 9:30) 会員限定	収穫祭・・・マコモ収穫 お楽しみ企画、新米おにぎりなど

東洋大学小瀬研究室（東洋大学川越キャンパス こもれびの森・里山支援隊／総合情報学部）

問い合わせ：小瀬博之（E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532）

こもれびの森・里山支援隊 <http://ameblo.jp/komorebi-satoyama/>

<こもれびの森・里山支援隊>

◎親子で里山体験と木工教室

日時：7月30日（日）9:00-受付, 9:10-12:00 実施
（荒天中止）

集合場所：東洋大学川越キャンパス 7号館理工学部棟物創り工房（川越市鯨井 2100）

費用：無料

対象：本学教職員・学生、市民（親子連れ）等

定員：先着 10 組程度

内容：簡単な森林整備施業（観察と手鋸、剪定鋏等を用いた小径木の下刈り）と木工（ボードコール、ネームプレートなど）

持ち物：汚れてもよい服装（長袖、長ズボン）、靴、手袋（軍手等）、手ぬぐい・バンダナ（ヘルメットの下に身に付けます）、タオル、飲み物など森での作業に必要なもの、あれば自前の道具（手鋸、剪

定バサミ)

申込・問い合わせ：お名前・住所・メールアドレス・携帯番号・参加人数を明記の上、上記問い合わせ先にメールかFax.で申し込みください。

*開催案内ブログ：こもれびの森・里山支援隊
(<http://ameblo.jp/komorebi-satoyama/>)

*中止の場合 Twitter で開催当日 6:30 ごろ通知
(<https://twitter.com/toyokomorebi/>)

*報告 Facebook (<https://www.facebook.com/komorebisatoyama/>)

<総合情報学部>

◎地域プロジェクト演習 2017 川越霞ヶ関北地区公開成果報告会

日時：7月30日(日) 13:30-16:00

場所：霞ヶ関北自治会館(川越市霞ヶ関北3-12-16)

定員：15名

参加方法：上記連絡先までまたは当日直接会場
内容：霞ヶ関北地区における地域課題の発見と解決策の実施・結果の分析等を地域と協働で進める3年生のグループ演習の成果報告を公開で行います。

◎地域プロジェクト演習 2017「川越昭和の街」地区公開成果報告会

日時：8月3日(木) 18:30-20:30

場所：蓮馨寺講堂(川越市連雀町7-1)

定員：30名

参加方法：上記連絡先までまたは当日直接会場
内容：「川越昭和の街」地区における地域課題の発見と解決策の実施・結果の分析等を地域と協働で進める3年生のグループ演習の成果報告を公開で行います。

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛(Tel&Fax.049-242-4322)・武田侃蔵(Tel.090-2521-5770)

◎「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第1火曜日・第3金曜日

日時：7月21日(金)・8月1日(火)・18日(金) 13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

②第2日曜日

日時：7月9日・8月13日(日) 9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ。

③第4土曜日

日時：7月22日・8月26日(土) 13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

◎「川越百万灯夏まつり」メイン通りクリーン

日時：7月29日(土)・30日(日) 13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から札の辻まで。パレード前にごみ拾い。観光協会集積所で分別してまとめ、解散。

◎川の国・新河岸川市内流域の清掃

原則として第4日曜日9:00より2時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の3日前までに武田(Tel.090-2521-5770)へご連絡ください。

①7月23日(日) 9:00-11:00

新河岸川上流、三日月橋から濯紫公園まで。星野高校脇の黄金橋に集合。上・下流に分かれて作業。石原橋近くにまとめて解散。

②8月27日(日) 9:00-11:00

杉下橋右岸たもとから、上・下流川の中と堤防清掃。管理の県土事務所の工事状況の確認も含めて作業。オアシス裏で解散

小畔川の自然を考える会

問い合わせ・申し込み：賀登環 (Tel. 049-234-9366)

◎小畔川魚類調査

日時：7月16日(日) 10:00-12:00

場所：小畔川御伊勢橋下流

網、ウェダーは貸し出します。気軽に参加ください。

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：内野 (Tel.049-222-1731)、当日の携帯電話連絡 (Tel.090-7003-8617)

◎伊佐沼でバードウォッチング

(毎月第2日曜日、小雨決行)

集合：10:00 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや

持ち物：筆記用具・図鑑・双眼鏡・飲み物

参加費：一般 300円、高校生以下 100円 (保険代・資料代)

解散：集合場所にて 12:00 ごろ

①7月9日(日) 10:00-12:00

ピンクの古代ハスの花が咲きそろい、カイツブリやカルガモのひなは無事に育っています。暑いですが楽しい観察会になるでしょう。

②8月13日(日) 10:00-12:00

サギの渡りが始まり、チュウサギ、アマサギなど、他の月に少ないサギが観察できます。

広報委員会からのお知らせ

●会員募集

かわごえ環境ネットは、自然を守りたい、緑をいっぱいになりたい、川や水辺をきれいにしたい、ごみを減らしたい、歴史的街並みを大切にしたい、環境にやさしい生活をしたい、仕事で環境問題を考えたい、環境について話し合いたいなどと考えて活動したい人や団体が、協力してこれからの川越のことを考えたり、働いたり、情報交換をするための組織です。

会員になれば、毎月本紙を郵送でお届けするとともに、関連するチラシなども同封します。専門委員会の活動にも参加でき、さまざまな人的な交流や情報交流ができます。

個人会員は1,000円、5名以上の団体会員は2,000円で会員になれます。入会についての詳細は、かわごえ環境ネットホームページをご覧ください。ただか、事務局にお問い合わせください。

<http://kawagoekankyo.net/news/admission.html>



かわごえ環境ネット入会案内 QRコード

●インターネットでの情報発信

1.本紙がカラーで見られます

残念ながら会員に送付及び公民館等で配布している紙版は、モノクロの孔版印刷のために画像がつぶれてしまい、判別がつきにくい状況です。本会ホームページでは、バックナンバーを含めてカラーで本紙 PDF ファイルが見られます。鮮明な画像でぜひお楽しみください。スマートフォンにも最適化されています。

(<http://kawagoekankyo.net>)



かわごえ環境ネット

ブログ 活動概要 お問い合わせ 会員 広報 かわごえ環境フォーラム 会則 入会案内



月刊 かわごえ環境ネット 2017

年9月号 No.125

月刊 かわごえ環境ネット 2017年3月号 No.125を2017年3月4日に発行しました。2月26日に開催された第15回かわごえ環境フォーラムの速報なども掲載しています。

発行日：2017年3月4日



かわごえ環境ネット Web サイト

2. Twitter でかわごえ環境ネットをフォロー

本会 Twitter (@kawagoekankyo) は、ブログの更新と連動してツイートします。Twitter にユーザー登録してぜひフォローしてください。

(<https://twitter.com/kawagoekankyo>)

3. Facebook ページ「いいね！」してください

本会は、Facebook でも積極的に情報発信しています。かわごえ環境ネットからのお知らせだけでなく、イベント等の報告も逐次行っています。Facebook に登録していなくてもご覧いただけますが、ぜひアカウント登録を行って「いいね！」してください。

<https://www.facebook.com/kawagoekankyonet>



かわごえ環境ネット Facebook ページ



QR ホームページ



Twitter



Facebook ページ

●本紙への原稿投稿を受けつけています

2017年8月号 (No.130, 8月1日発行予定) の掲載原稿は、7月15日 (土) 締切です。原稿と写真は電子データで編集担当共有のメーリングリスト (koho@ml.kawagoekankyo.net) にお送りください。メーリングリストは事前登録が必要です。未登録の方は事務局にお問い合わせください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局 (環境政策課、川越市役所本

庁舎5階) に提出してください。

●入稿に際してのお願い

編集をより効率的に進められるよう、入稿の際に次の事項にご協力いただければ幸いです。

①所定のテンプレートに入力

Word 形式のテンプレートを用意しています。そちらを使っただけだと効率的に編集ができます。入用の方は広報委員会にご連絡ください (koho@kawagoekankyo.net)。

②文字の入力方法を統一的に

英数字はすべて半角で入力をお願いします。「()」「:」は原則として全角を用いていますが、英文や時刻表示の「:」は半角を用いています。

③図表や写真にはタイトルをつけて

読者が状況を把握するのに役立ちます。

④画像は添付ファイルで提出を

長辺を「800 ピクセル」程度にサイズを小さくした上で、ファイルを別途添付して提出してください。Word に貼り付けずにタイトルがわかるようにしていただければレイアウトします。

⑤原稿の入稿期限 (毎月 15 日) にご協力を

原稿が揃わないと効率よく作業できません。早期の発行にご協力ください。

●おことわり

本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

イベントカレンダー (7月9日~8月30日)

日	月	火	水	木	金	土
7/9 ◎8:30 こもれびの森・里山支隊 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐召でバードウォッチング	7/10 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地調査・保全活動	7/11	7/12	7/13	7/14 ◎9:00 農作業・月例会(みなみかぜ) ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会 ○郊外クリーン活動申込期限	7/15 ◎9:00 田んぼ除草大作戦(かわごえ里山) ○本紙8月号投稿期限
7/16 ★9:30 郊外クリーン活動 ◎9:30 小畔川魚類調査	7/17 海の日 ◎10:00 武蔵丘陵森林公園自然観察会	7/18	7/19 ◆9:00 事業運営委員会 ◆10:00 理事会	7/20	7/21 ◎13:30 まち美化啓発運動	7/22 ◎13:30 まち美化啓発活動 ◎16:00 総会・懇親会(かわごえ里山)
7/23 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃 ★10:00 エコプロダクツ川越2017 出展	7/24 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地調査・保全活動	7/25	7/26	7/27	7/28	7/29 ◎13:30 百万灯夏まつりクリーン
7/30 ★9:00 虫の観察会 ◎9:10 親子で里山体験と木工教室 ◎13:30 百万灯夏まつりクリーン	7/31	8/1 ★9:00 池辺公園定例活動 ◎13:30 まち美化啓発運動	8/2 ◆9:00 広報委員会 ★10:00 まち歩き暑さ測定ツアー	8/3	8/4	8/5 ★9:00 甲虫調査
8/6	8/7	8/8	8/9	8/10 ●13:00 社会環境部会	8/11 海の日	8/12
8/13 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐召でバードウォッチング	8/14	8/15 ○本紙9月号投稿期限	8/16	8/17	8/18 ◎13:30 まち美化啓発運動	8/19
8/20	8/21	8/22	8/23	8/24	8/25	8/26 ◎13:30 まち美化啓発活動 ◎16:30 武蔵丘陵森林公園自然観察会
8/27 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃	8/28	8/29	8/30 ◆9:00 広報委員会 ◆10:00 事業運営委員会	★：会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●：会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 ○：その他 詳細は個別の記事をご覧ください		

月刊 かわごえ環境ネット 2017年7月号 No.129

発行日 2017年7月7日 編集・発行 かわごえ環境ネット 広報委員会

事務局 〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課

Tel. 049-224-5866 (直通) Fax. 049-225-9800 E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

かわごえ環境ネットホームページ <http://kawagoekankyo.net/>